小児看護学概論	１年・後期	１単位	講師　宮澤 由佳
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210731

１．授業のねらい・概要

小児看護の理念と変遷，子どもの権利について学び，子どもの権利を擁護する小児看護のあり方について理解する。また，子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会・医療の現状と課題，子どもの法律・施策について学ぶ。さらに，小児看護で用いられる理論や子どもの成長発達について学び，子どもやその家族の発達課題，成長発達を支援するために必要な基礎的知識を学ぶ。

２．学修の到達目標

１．小児看護の理念と変遷について理解できる。
２．子どもの権利を擁護する小児看護のあり方を理解できる。
３．子どもと家族を取り巻く社会・医療の現状と課題を理解できる。
４．子どもの成長発達が理解できる。
５．子どもと家族の生活が理解できる。

３．授業の進め方

講義を中心に進めるが，視聴覚教材，グループワークを取り入れ，学生が主体的に学習を進められるように努める。自己学習ができように課題を与える。

４．授業計画（講義）

１．小児看護の特徴	５．子どもの成長・発達と看護〈新生児･乳児期〉
２．子どもの権利と看護	６．子どもの成長・発達と看護〈幼児期･学童期〉
３．子どもと家族を取り巻く社会	７．子どもの成長・発達と看護〈思春期･青年期〉
４．子どもの成長発達と栄養	８．子どもの発育の評価　【試験】

５．成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 2/3 以上出席した者）80%，レポート課題等 20%で総合的に評価する。

６．テキスト・参考文献

テキスト：ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護　メディカ出版
参考文献：系統別看護学講座 小児看護学 1 小児看護学概論･小児臨床看護学総論　医学書院

７．準備学習に必要な時間，又はそれに準ずる程度の具体的学習内容

次回講義内容のテキスト該当箇所の予習（30 分程度）と復習（30 分程度）をすること。

８．受講上の留意事項

小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ，小児看護学実習へ進むための基盤を構築する科目であることを意識して積極的に学習すること。小児看護学実習の先修科目である。

９．課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10．卒業認定・学位授与の方針と街頭授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11．実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。